

7.4 連携イベント

7.4.1 イノベーション・ジャパン2015

NEDOセミナーとのコラボレーションにより、「オープンイノベーションの羅針盤～①オープンイノベーション大航海時代の波に乗るために何が必要か、②オープンイノベーションを推進するNEDOの取り組み」をテーマとしたセミナーを開催し、起業から事業化までの各ステージにおける課題や問題とその乗り越え方等についての講演を実施。

【開催日】2015年8月27日(木)

【開催場所】東京ビッグサイト

プログラム

セッション1:「オープンイノベーション大航海時代の波に乗るために何が必要か」

1. 大学発ベンチャーが持つべき羅針盤とは

宮本 岩男氏

経済産業省 産業技術環境局 大学連携室 室長



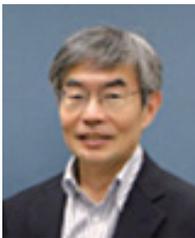
「大学発ベンチャーの成長要因分析調査から見えた、あるべき支援の方向とは」

大学発ベンチャー約1700社を対象に行った調査結果をもとに、大学発ベンチャーの成長を促す支援の在り方について講演。

2. 優れた航海プランを持った船長を見つけるには

野本 真一氏

株式会社KDDI研究所 取締役・戦略部門長



「我が社のオープンイノベーションへの取り組み
／KDDI∞LABOプログラム」

新しい未来を創り出すベンチャー企業のスタートアップを支援する「KDDI∞LABOプログラム」。その特徴あるインキュベーションプログラムの展開について講演。

3. 羅針盤の善し悪しで差がつくアーリーステージ

吉岡 恒氏

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部 主幹

「スタートアップのシーズを磨く過程で見えた良い方位感」

NEDOが事業カタライザーとともに支援するシード期からアーリーステージの起業家の成長過程から見えた「起業時の無駄なく効率的なマネジメント」について講演。

4.船出してから荒海をいかに渡りきったか

岡田 穰治氏 スペクトロニクス株式会社 社長



「ベンチャー企業が事業化の道筋をつけるまでの乗り越えた壁」
顧客「ゼロ」からスタートし現在の事業体制に至るまでに、軸となる技術を製品化していく過程で事業化と、顧客ニーズへの対応・提案の大切さについて講演

5.航海プランによって船の装備が変わる

松田 一敬氏 合同会社SARR(サール) 代表執行役員 医学博士



「優れた技術をビジネスにつなげるためのプランの魅せかたとは」
大学発ベンチャー支援および起業家育成・ハイテクベンチャーのスタートアップ支援の実際から、事業化の可能性がある優れた技術をどのように伝えビジネスにつなげるかについて講演。

6.正しい羅針盤を持つことが事業成功の鍵

安友 雄一氏 ブラザー工業株式会社 新規事業推進部 技術推進グループ
グランド・マスター 工学博士



「逃してはいけない事業化加速のタイミング」
株式会社エクシング(カーブアウトベンチャー)を設立し、カラオケ「JOYSOUND」を軌道に乗せるまでに起こった様々なターニングポイントをもとに、事業を成功に導くために責任者にとって何が大切かを講演。

セッション2「オープンイノベーションを推進するNEDOの取り組み」

1.NEDOテーマ公募事業のご紹介

伊吹 信一郎氏 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部 主任

「シーズ発掘から実用化支援におけるNEDOの取り組み」

シーズ発掘や起業家育成、中小・ベンチャー企業の技術開発支援から実用化まで、切れ目なく事業化を後押しするNEDOの取り組みを紹介。

2.オープンイノベーション協議会のご紹介

小栗 和行氏 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部(オープンイノベーション協議会事務局) 主幹

「オープンイノベーション協議会活動のご紹介」

オープンイノベーションの取り組みを推進することにより我が国のイノベーションの創出及び競争力に寄与することを目的に2015年2月に設立した「オープンイノベーション協議会」。その活動内容を紹介。